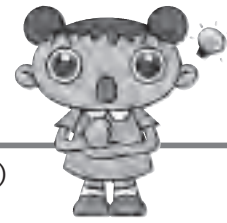




環境衛生情報



町民課環境衛生係 (32)3111 (内線47・74)

ごみの焼却は、禁止されています。 注意しましょう！

平成14年12月1日から、家庭や会社から出たごみなどは、種類にかかわらず、廃棄物処理および清掃に関する法律により、一部の例外を除き野外焼却することが禁止されています。違反しますと罰則として、**5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金(法人の場合は3億円以下の加重罰)**が課せられます。
ブロック囲い、ドラム缶などでのごみの焼却は、近隣の方への迷惑行為になるので行わないようにしましょう。

焼却禁止の例外として…

①法規制適合型の焼却炉での焼却

- 800℃以上で焼却できるもの
- 外気と遮断された状態で、定量ずつごみを投入できるもの
- 炉内の温度を測定でき、温度を保つための助燃装置が設けられているもの

※焼却炉の性能が発揮されるよう適切な運転・管理がされなければなりません。

②法令に基づいて行う焼却

- 病害虫のついた木の枝の焼却
- 伝染病にかかった家畜の死体の焼却

③公共的もしくは社会の習慣上やむを得ない焼却

- 災害の予防、応急対策または、復旧のために必要な焼却
 - ・ 凍霜害を防ぐためのわらの焼却
- 風俗習慣上または、宗教上の行事を行うために必要な焼却
 - ・ どんど焼き、焼いも大会などの行事による焼却
- 農業、林業または、漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却
- たき火等の日常生活を営むために通常行われる廃棄物の焼却で軽微なもの

※焼却禁止の例外と思われる場合でも、住宅が密集している地域においては、近隣者に配慮し、町指定ごみ袋で集積所に出すようにしてください。

法令に適合しない焼却炉は、早急に撤去をお願いします。

上記①以外の野焼きの場合は消防署へ届出をお願いします。(火災と間違えるような煙または、火災を発生する恐れのある場合は、その旨を所轄消防署長に届けることになっています)



① ボール



誤 不燃ごみ
正 可燃ごみ

穴を開けるなどして、空気を抜いてから可燃ごみで出してください。

② 食品用ラップ(家庭用)



誤 プラスチック製容器包装
正 可燃ごみ

容器包装には該当しません。使用の有無を問わず、可燃ごみで出してください。

問い合わせ先

町民課環境衛生係(内線47)

サモアより。

2012年3月29日、深夜午前1時、サモア国のファレオロ国際空港へ降り立った。青年海外協力隊としてこの地へ派遣されたためだ。日本からの飛行時間は、合計約13時間。パリやロンドン、ローマなどがある西ヨーロッパや、ニューヨークなどのアメリカ東部への直行便よりも、飛行時間は若干短い。そのため、さほど遠い国に思われなくてもいい。時差も日本から4時間(サマータイム時は5時間)だけだ。しかし、日本からサモアへの直行便は無い。

そのため、乗り換えが必要である。私の使用した便は、ニュージーランドのオークランド経由で、乗り換えには半日以上かかり、結局日本から24時間以上をかけて、ようやくサモアへたどり着いた。

近いようで、遠い国サモア。南太平洋中部に浮かぶ、小さな島国だ。経度でいうと日本とアメリカ大陸の真ん中あたりにある。ここから北上して赤道を超えるとハワイが見えてくる。

気候は1年中温暖で、まさしく「トロピカル」。広大な美しい海を背景に、ゆつくりとした時間が流れている。昨年度末の日付変更線改訂により、現在、世界で最初に日付が変更される国の1つでもある(サマータイム時のみ)。また、今年6月1日には、独立50周年を迎えた。

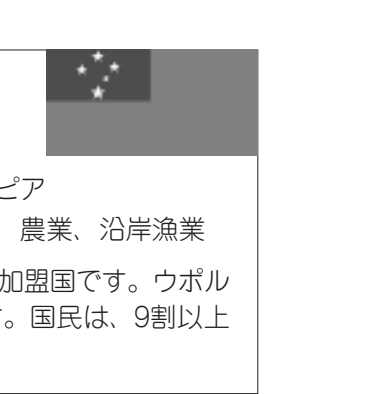
サモア人の9割は、ポリネシアンだ。日本のお茶の間でおなじみのポリネシアンと言えば元大相撲力士の曙関、小錦関である(ただし、彼らはハワイ出身)。彼らの体格を見てわかる通り、大柄で屈強な体特徴だ。その一方、性格は、典型的に温厚で明るい。国民のほとんどはクリスチャンで、とても信仰心のあつい信者である。ちなみに、日曜日は安息日で、みんな教会へ行くため、国中のほとんどの店が休みとなる。

公用語はサモア語と英語である。カレッジと呼ばれる、日本の中高生の年齢にあたる学校では、基本的に、全て英語で授業が行われるそう。そのため、バイリンガルが多く、英語が喋れば、日常生活で困ることはほとんど無い。

国民の総人口は約18万人で、長野県松本市の市民より少ない。それでも、ラグビーが盛んで、世界でもトップクラスの實力を持つ。この人口数でこれだけ強いのは驚きだが、街を歩いていると、いたるところでラグビーをやっている逞しい子どもたちを目にし、その結果にも納得できる。

この国で2年間をかけて小学生へ美術を教えることが、私の主な任務である。サモアでは、今年度から教育カリキュラムが変更され、小学校で美術が必修科目となった。しかし、現場で美術の授業を教えらるる先生がいない。なぜなら、現場教員に美術科の指導経験がほぼ皆無だからだ。そこで、私が授業を受け持ち、子どもたちに美術を教える。さらに、指導法や、道具の購入、使い方、管理などを含め、現場の教員に美術科教育に必要なノウハウを伝えていくことも重要な任務となっている。活動は、その周辺校へも出張し、出前授業をする予定である。

さて、現在は活動序盤ということ。モデル校の「モアタア小学校」に毎日通っている。ここの様子はというと、なんと、現在校舎立て替え中のため、隣接する「ファレ」(※サモア語で「家」を意味する、伝統的な建物や、「教会」で授業が行われている。「ファレ」は基本、屋根と柱のみで壁が無い。そのため、雰囲気はさながら、青空教室のようである。学校は海辺に位置し、とても開放的な環境の中、子どもたちが元気いっぱい勉強している。新たな経験を楽しみながら、サモアの未来に少しでも貢献できるように、精一杯努力していく。



サモア独立国の概要

- 面積 2,840km² (鳥取県よりやや小さい)
- 人口 約18万人
- 首都 アピア
- 主要言語 サモア語、英語
- 主要産業 農業、沿岸漁業

サモア独立国は、南太平洋の島国で、イギリス連邦加盟国です。ウポロ島、サバイイ島および7つの小島からなっています。国民は、9割以上がポリネシア系のサモア人です。

梅田 力 さん (御代田町出身・昭和56年生まれ)

美術隊員として、現在サモアで活動中。2年間の派遣予定。2005年～2009年には、エコールみよたで個展を開いた。

